

## バードウォッチングを始めよう

### 持ち物

8倍双眼鏡、図鑑、ノート、筆記具など

### 観察方法

- ・海や川など水辺の野鳥が一番見つけやすい。
- ・野山では実のある樹木に注意しよう。
- ・高い木のてっぺんや枝先に気をつけよう。
- ・耳を澄まして野鳥の声を聴いてみよう。
- ・野鳥を見つけた時は、色や形の特徴、動作などをしっかり観察し、それから図鑑で調べよう。
- ・時々、空も見まわしてみよう。
- ・気がついたことは、その場でメモしよう。
- ・自宅近くで観察できる場所を見つけよう。
- ・探鳥会や野鳥観察会に参加してみると一段と楽しくなるでしょう



## 甲山森林公園一帯で観察される野鳥

NO	公園周辺で一年中見られる野鳥	春・秋に通過する渡り鳥	公園一帯で越冬する渡り鳥
1	アオサギ	ハチクマ	ノスリ
2	ミサゴ	サシバ	ハイタカ
3	トビ	ホトトギス	ヨシガモ
4	キジバト	ツバメ	クイナ
5	カワセミ	サンショウクイ	オオバン
6	アオゲラ	コマドリ	アオバト
7	コゲラ	コルリ	アカゲラ
8	キセキレイ	クロツグミ	ハクセキレイ
9	セグロセキレイ	アカハラ	モズ
10	ヒヨドリ	ヤブサメ	ルリビタキ
11	ウグイス	メボソムシクイ	ジョウビタキ
12	エナガ	エゾムシクイ	シロハラ
13	シジュウカラ	センダイムシクイ	ツグミ
14	ヤマガラ	キビタキ	カシラダカ
15	メジロ	オオルリ	ミヤマホオジロ
16	カワラヒワ	サメビタキ	アオジ
17	スズメ	エゾビタキ	クロジ
18	ハシボソガラス	コサメビタキ	ベニマシコ
19	ハシブトガラス	ノジコ	カケス

## 甲山森林公園のシンボル鳥「ヤマガラ」(表紙の写真)

甲山森林公園は、西宮市街地からほど近い自然豊かな雑木で覆われた公園です。樹種も多様で、クスノキやコナラなど実のなる木も多く自生しています。ヤマガラが大好きなエゴノキも各地にあり、秋から冬の大切な食料になっています。また子育て期は、コナラや桜の若葉につく尺取り虫などが、ヒナの大切な食べ物になります。

ヤマガラは夫婦仲の好い鳥で、一度つがいになると、一方が死ぬまで一緒に生活します。オスはメスのねぐら入りを見つけてから自分のねぐらに入ります。頭でっかちでための体形は、ひょうきんな仕草とともに見る人をなごませてくれます。地鳴きは「ピーピー」、さえずりは「ツーツーピー」。

## 甲山森林公園のあらまし

- 所在地 兵庫県西宮市甲山町43
- 面積 83ヘクタール
- 開園年月日 昭和45年11月10日
- 種別 広域公園
- 主な施設

- ・シンボルゾーン (愛の像、笠形噴水、彫刻の道など)
- ・野外ステージ (収容人員 1,000人)
- ・自由広場 2カ所
- ・健康運動広場
- ・展望台 ・軽登山道 (約6km)
- ・駐車場 (5箇所約75台無料)

### 交通

#### ■電車バス利用の場合

- ・阪神電車「西宮」駅から阪神バス 鷲林寺循環線阪神西宮行「県立甲山森林公園前」下車すぐ
- または同駅から山手循環線「大師道」下車徒歩15分
- ・阪急電車甲陽線「甲陽園」駅から阪神バス「大師道」下車徒歩15分または同駅から徒歩約1.7km(約25分)
- ・阪急電車今津線「仁川」駅から徒歩約3km(約45分)
- ・阪急電車今津線「甲東園」駅から徒歩約3.5km(約50分)

#### ■車の場合

- ・国道2号線神楽町の交差点より、県道82号線(大沢西宮線)を北へ、阪急甲陽線踏切手前を右折、最初の踏切を渡り、右折(甲陽園駅方面へ)。甲陽園通りから甲山大師道で左折。(約15分)
- ・国道171号線青木交差点を北へ、3つ目の信号を左折、御手洗川沿いから甲山大師道へ。(約15分)



## 兵庫県立甲山森林公園

指定管理者 パークマネジメント甲山

〒662-0001 兵庫県西宮市甲山町43

TEL 0798-73-4600 / FAX 0798-72-0609

<http://www.kabutoyama-park.com>

かぶとやましんりんこうえん やちょう

## 甲山森林公園の野鳥

Wild birds in Kabutoyama a Forest Park



甲山森林公園のシンボル鳥  
「ヤマガラ」

兵庫県立都市公園

# 甲山森林公園で見れる鳥たち

公園内では鳥達がいっぱいいます。  
耳をすまして鳥達のステキな鳴き声を聞いてみてね。

## メジロ

スズメより小さな鳥。目の縁の白い輪、頭から背中が緑一色。果実や花の蜜が大好き。園内で最も多い鳥の一つ。地鳴きは「チーッ」、さえずりはよく透る高音で複雑な早口の歌を歌う。



## シジュウカラ

黒いネクタイをしているが、白いほおがチャームポイント。桜の尺取り虫を餌にして巣箱でせっせと子育てをする。地鳴きは「ツピッ」や「ジユクジユク」、囀りは「ツツピン、ツツピン」。



## エナガ

一生のほとんどを群れ、縄張りの中で生活をする。小さなくちばしでアブラムシやアリマキ・木の実を食べる。冬はカラ混群のリーダー。地鳴きは「チー」とか「ジュリジュリ」。



## コゲラ

日本最小の白と焦茶色のキツツキ。枯木などをらせん状にまわりながらつついて虫を探し出す。2羽で行動する。数は多くないが各所で見られる。鳴声は「ギーギー」や「キッキキキ」。



## キジバト

首の青縞模様が特徴。いつも2羽で行動する。ドバトのように集団にならない。主に木の实や草・雑穀の種子を食べる。ピジョンミルクで年に何回も子育てする。雄の鳴声は「デデッポーポー」。



## ヒヨドリ

赤茶色の頬以外は灰色一色の中型の鳥。長めの尾をもち、波状に飛ぶ。よく見かける小うるさい鳥だが、世界中で日本と台湾にしかいない。雑食だが果実や花の蜜を好んでよく食べる。



## カワセミ

橙色のお腹と青く輝く背中、太く長くちばし。空飛ぶ宝石。意外と近くの川や池にいる。水辺の小枝から飛び込んで魚を捕る。地鳴きは「チー」や「チピー」と飛びながら鳴く。



## カワラヒワ

飛ぶと翼に大きな黄色の模様。尾の真ん中は凹型で、頑丈なくちばしでケヤキなどの堅い実を割って食べる。いつも群れで動く。地鳴きは「キリキリキリ」、「コロコロコロ」。



## オオルリ

声も姿も美しい日本の夏鳥の代表。5月の連休頃は、街中の公園も通過して行く。高木の枝先で鳴くので、見つけやすい。複雑な歌の終わりに「ジジッ」という音が入る。



## キビタキ

夏鳥のもう一方の代表。やはり姿・声とも美しいが、コナラなど落葉樹の中にいるので見つけ難い。地鳴きは「ヒイヒイ」、「クルルル」、さえずりは複雑で「ポッピーリ」といった音が入る。



## センダイムシクイ

メジロより少し大きい。クリーム色の眉班と真っ白なお腹。落葉樹の枝先で囀る。比較的数量が多く、この辺りでも繁殖する。さえずりは「チョチョビー」、「チイチョチョジー」。



## コサメビタキ

何といてもくりくりした大きな目が特徴。地味な灰褐色の背中と白いお腹。秋は昆虫や木の実を食べながら通過していく。地鳴きは「ギジジジ」とか「ギジギジ」。さえずりは複雑。



## ノビタキ

スズメを一回り小さくした地味な鳥。夏の雄の頭から背中が真黒。春・秋に通過。ヨシ原でクモやバッタなどを捕る。秋の方が数が多い。地鳴きは「ヒッ」とか「ジャツジャツ」。



## シロハラ

ムクドリ位の茶褐色の鳥。お腹は名前ほど白くない。この一帯では常緑樹の実が豊富なので、多数越冬する。早春には地上で動物性の餌をあさる。地鳴きは「ツイー」、「キョッキョッ」。



## ジョウビタキ

スズメ位の愛くるしい目をした鳥。翼に白い斑がある。ヌルデやハゼの実・昆虫を好んで食べる。雄は銀色の頭や背中、黒・腹部の橙色が目立つ。人を恐れない。地鳴きは「ヒーヒーヒー」。



## ルリビタキ

縄張りや食性はジョウビタキ同様。雑木林を好むが道端にも出てくる。1年目の雄も雌のような地味な色。成鳥雄はルリ色が美しいが数は少ない。地鳴きは「ヒー、ヒー」と弱々しい声。



## アオジ

灰黄緑色の頭、茶色の背中と黄色いお腹をもつ、雀より少し大きい鳥。雑穀の種子などを食べている。地鳴きは「チッ、ズッ」。春頃、「チョッチーチョチョ」と美声でゆったり歌ってくれる。



## ベニマシコ

翼にくっきり白いバンドがある。長い尾と可愛い嘴。雌は黄褐色だが、雄は全体が紅色。セイタカアワダチソウの実が好物。ヨシ原で越冬している。地鳴きは「フィッ、フィホ」と優しく鳴く。

